

区立学校におけるオンライン学習の取組状況と今後の展望について

1 これまでの取組状況

(1) 臨時休業中(4月～5月)

① 教育委員会から学校に求めた取組

- ・学校ホームページに学習課題や家庭学習時間割を掲載し、児童・生徒が家庭学習を計画的に行えるようにするとともに、規則正しい生活が送れるようにする。
- ・学校ホームページに教員によるメッセージ動画等を掲載し、児童・生徒が安心感を得て、学校とつながり続けられるようにする。
- ※一部学校では授業動画やプレゼンソフトによる学習教材を掲載した。

② 教育委員会から学校に行った支援

- ・臨時休業中のオンライン学習等の推進について学校と保護者に通知
- ・中学校にグーグルの管理者アカウント配布 ⇒ 学校は生徒へアカウントを配布
- ・中学校に2・3年生対象者分のタブレットPC・ルーターを配布
- ・中学校にICT学習支援員を配置
- ・学校再開後のオンライン学習等の方法・注意点を学校に通知

(2) 学校再開後(6月～8月): 学校ごとの取組状況の詳細は別紙を参照

教委が学校に求めた取組	教委が学校に行った支援	小中学校の自主的な取組
分散登校期間 (6/1～6/12) ・オンライン学習の復習・予習への活用 ・グーグルアカウント設定等の環境整備 ※一部学校ではグーグルミートを活用したHR等を実施	●小学校にグーグルの管理者アカウントを配布 ⇒学校は全児童にアカウント配布 ●全小中学校に「おまかせ教室」のアカウントを配布 ⇒学校は全児童にアカウント配布 ●中1・2年生・小6年生の対象者分ルーター配布	<中学校> ○先進的にオンライン学習に取り組んでいる中学校で、他中学校教員が学び所属校で実践。 <小学校>校長会独自にオンライン学習導入の目安を設定 ○グーグルと「おまかせ教室」のアカウント確定。(～7/3) ○全保護者にアカウント設定に関する文書配布(～7/10)(特に低学年保護者に配慮) ○3年生以上の児童への指導①(できるだけ早く～7/20) ・「おまかせ教室」の使い方や教員が指示した学習を推進 ・グーグルクラスルーム・ミートへの参加の仕方を指導 ・グーグルクラスルーム教材の受取・提出の指導 ・情報モラル指導 ○3年生以上の児童への指導②(7/21～8/7) ・①の指導を一層充実。
通常授業 (6/13～7/20) ・ICT機器の使用法の説明や授業内での積極的に活用 ・情報モラル教育の推進 ・計画的に自主学習を進める力の育成 ※不登校や登校をしない・できない児童・生徒に対しては、グーグルミートでの交流、「おまかせ教室」での学習を推進	●中1・2年生・小6年生の対象者分タブレットPC配布 ●ICT学習支援員を追加配置 ●ICT先進校(区内私立小)教委・校長会視察	
夏季午前授業 (7/21～8/7) ・午後の時間を利用し、グーグルミートや「おまかせ教室」を活用したオンライン学習の推進		
夏季休業期間 (8/8～8/31) ・家庭学習、宿題、補習教室等で「おまかせ教室」等の活用 ・必要に応じてグーグルミートによる夏季休業中の交流	●区ICT研修 区全小中学校対象⇒伝達研修 ●都オンライン学習の推進のための指導者講習会 都全小中学校対象⇒伝達研修	<中学校> 中学校でも授業で生徒にICT機器の使い方を指導。

2 今後の展望について（G I G Aスクール構想を見据えて）

（1）9月1日（火）までに取り組むこと

①学校が臨時休業になった場合の準備

- ・グーグルクラスルーム等で学校と児童・生徒が双方向の連絡や交流ができるようにする。（小学校5年生以下については学校ホームページ等を活用する）
- ・「おまかせ教室」や学校が作成したオンライン教材などの活用と、時間割などを示すことにより、オンラインによる授業を実施したり、家庭学習を計画的に進めたりできるようにする。（小学校5年生以下については学校ホームページ等を活用する）

②I C T機器活用の習熟

- ・教員一人一人がI C T機器の操作方法や、グーグルクラスルーム等の活用について理解を深め、教員全員が最低限の操作や活用ができるようにする。

（2）9月～10月に実施すること

①オンライン学習の積極的導入

- ・学校の授業等で「おまかせ教室」などのオンライン学習教材やグーグルクラスルーム等を積極的に活用する。（児童・生徒に操作を習熟させる）
- ・「おまかせ教室」などのオンライン学習教材を宿題や補習授業に活用する。

②不登校や学校に登校しない・できない児童・生徒への活用

- ・一人ひとりの児童・生徒の状況に応じて、グーグルミート等で連絡・交流や、時間割を示し、「おまかせ教室」等のオンライン学習教材を活用した家庭学習を行う。

③G I G Aスクール構想を踏まえた授業改善の推進

- ・個別学習としてのオンライン学習と学校での対面・協働学習を融合させた新しい授業スタイルの導入を、できることから試行する。（後述）

（3）令和2年度後半で実施すること

G I G Aスクール構想の進展に合わせ、これまで家庭学習や授業で実践してきたことを一層充実していくとともに、G I G Aスクール構想を踏まえた教育への意識改革と授業改善をより徹底していく。このことについては次年度の教育課程や指導計画に位置づける。

（4）G I G Aスクール構想の推進で目指すこと

① 学び方・教え方・働き方の三大改革

- ・学び方改革：子ども一人一人に状況に応じた個別に最適化された学びを実現
- ・教え方改革：知識習得型の一方向授業から価値創造・課題解決型の双方向授業への移行
- ・働き方改革：情報の共有と校務の効率化により教員が子どもと向き合う時間を確保

② ニューノーマルの学習モデルの創造

☆ I C T機器の活用とオンライン学習の推進により、学校も家庭も学習の場とする。

- ・家庭（個別学習）：一人一人の子どもが自己の段階とペースに合わせて学習を進める。
⇒ 人に合わせたり、人の目を気にすることなく達成感を得られるため、劣等感を持ちにくく自己肯定感も高まる。
- ・学校（対面学習）：子どもたちが集まり交流することにより、互いに刺激を受けて高め合ったり、よりよい課題解決方法を見つけたりしていく。
⇒ 対立と合意を繰り返しながら、互いの立場や個性を尊重しようとする気持ちを育む。また、一人ではできないことを皆で力を合わせて解決することにより、個人では得られない大きな達成感や自己有用感を得る。

別紙 オンライン学習取組状況調査

令和2年8月7日正午時点

各校におけるオンライン学習の取組状況について										
		小学校			中学校			小中合計		
		実施	一部実施	未実施	実施	一部実施	未実施	実施	一部実施	未実施
1 4～5月の臨時休業時の取組について										
①	学校ホームページに標準の学級・学年時間割を掲載した。	21	0	0	9	1	0	30	1	0
②	学校ホームページに学習課題を掲載した。	21	0	0	10	0	0	31	0	0
③	学校と児童・生徒がオンラインで学習課題のやり取りをした。	3	3	15	4	1	5	7	4	20
④	学校ホームページに教員のメッセージ動画を掲載した。	21	0	0	4	3	3	25	3	3
⑤	学校ホームページに学習動画を掲載した。	13	3	5	6	2	2	19	5	7
⑥	学校から提示する課題に、都やNHKなどの外部オンラインコンテンツを活用した。	19	1	1	7	3	0	26	4	1
⑦	グーグルミート等のオンライン会議システムやストリーム等を使って、学校（教員）と児童・生徒が交流した。	2	2	17	4	0	6	6	2	23
2 現段階での進捗状況（夏季休業時以外の直近の状況）										
①	中学校全学年・小学校6学年の対象児童・生徒全員にタブレットP C等を配布した。	19	2	0	10	0	0	29	2	0
②	全学年の児童・生徒全員にグーグルのアカウントを配布し、使える状態になっている。	21	0	0	10	0	0	31	0	0
③	全学年の児童・生徒全員に「おまかせ教室」のアカウントを配布し、使える状態になっている。	21	0	0	10	0	0	31	0	0
④	学校で児童・生徒にグーグルクラスルームや「おまかせ教室」の使い方を指導した。	10	11	0	10	0	0	20	11	0
⑤	校内で教職員を対象とした、オンライン学習関係の研修を実施した。	21	0	0	8	2	0	29	2	0
⑥	学校の授業で「おまかせ教室」を活用した。	8	11	2	1	3	6	9	14	8
⑦	授業のない午後などにグーグルミートやストリームなどを活用して、学校（教員）と児童・生徒が交流した。	5	8	8	5	3	2	10	11	10
⑧	不登校児童・生徒や登校しない児童・生徒を対象に、担任等がグーグルミートやストリームなどで交流した。	3	6	12	3	3	4	6	9	16
⑨	補習学習や家庭学習、宿題に「おまかせ教室」を活用した。	9	9	3	4	2	4	13	11	7
⑩	補習学習や家庭学習、宿題に「おまかせ教室」以外のオンラインコンテンツを活用した。	6	5	10	5	4	1	11	9	11
⑪	学校独自の動画教材・オンライン教材がある。	7	3	11	7	3	0	14	6	11
3 夏季休業中の取組について（含む予定）										
①	グーグルミートやストリームなどを活用して、学校（教員）と児童・生徒が交流する。	7	10	4	7	2	1	14	12	5
②	学校ホームページに学習課題を掲載する。	16	1	4	9	0	1	25	1	5
③	学校と児童・生徒がオンラインで学習課題のやり取りをする。	5	8	8	5	5	0	10	13	8
④	学校ホームページに学習動画を掲載する。	5	5	11	7	2	1	12	7	12
⑤	補習学習や家庭学習、宿題に「おまかせ教室」を活用する。	10	9	2	6	4	0	16	13	2
⑥	補習学習や家庭学習、宿題に「おまかせ教室」以外のオンラインコンテンツを活用する。	5	6	10	5	4	1	10	10	11
4 9月以降臨時休業した場合の備えについて										
①	グーグルミートやストリーム、ホームページなどを活用して、学校（教員）と児童・生徒が交流する準備ができています。	18	3	0	9	1	0	27	4	0
②	「おまかせ教室」や学校で作成した教材などを使い、オンライン等で授業を進める準備ができています。	17	4	0	10	0	0	27	4	0
5 学校独自に活用しているオンライン教材・コンテンツがあったら教えてください。（記入）										
	小学校	<ul style="list-style-type: none"> インタラクティブスタディ ちびむすドリル PTA独自のLINEサイトを利用して、休校期間中に教員のメッセージ動画を配信 			中学校	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社城南教育研究社（EdTech）の「デキタス」 教科書会社発行の電子教科書 東京ベーシックドリル 				